

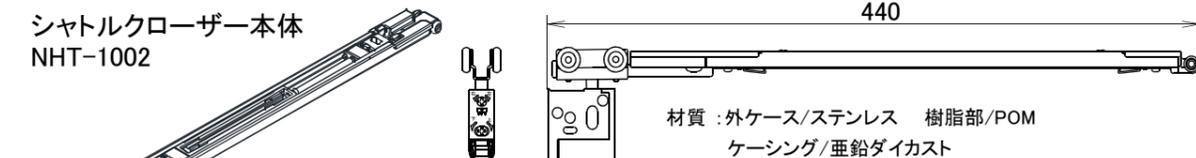
シャトルクローザー® W NHT-1002 取付説明書

【使用条件】

- 引戸扉重量 : 10kg以上 35kg以下 / 1枚
- 引戸扉幅 : 520mm以上で上記扉重量範囲内 / 1枚
- 引戸扉厚さ : 24mm以上 (24mmを下回る扉厚の場合、破損する危険性があります)
- 使用温度範囲 : 5°C~40°C
- ※クローズ速度調整・引込力の調整はできません
- ※本装置には扉が停止する時の衝突音や跳ね返りを抑える機能はありません

【製品に同梱されている物】

シャトルクローザー本体
NHT-1002



材質 : 外ケース/ステンレス 樹脂部/POM
ケーシング/亜鉛ダイカスト
付属 : ケーシング取付ネジ
低頭タッピン3.8×40 鉄 3本

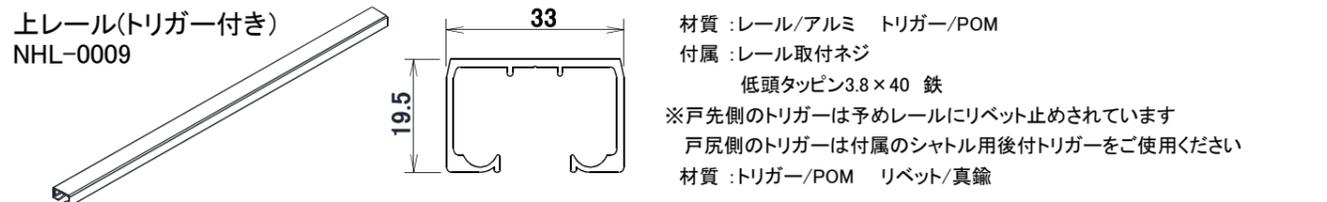
シャトル用後付トリガー
NHT-1004



材質 : ベース板・軸 / ステンレス
付属 : シャトル用後付トリガー取付ネジ
皿A D6 4×16 鉄 2本

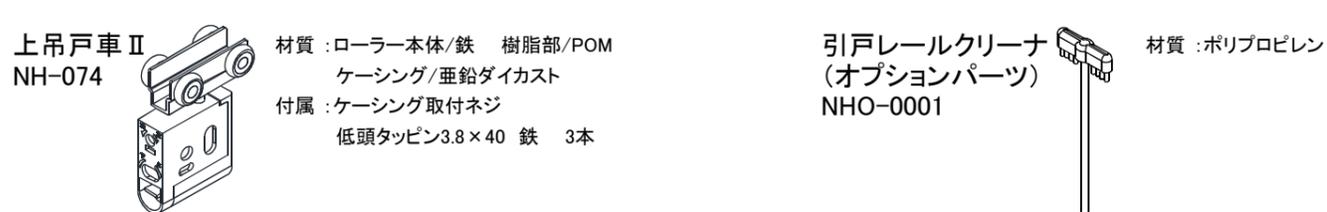
【別途ご用意いただく物】

上レール(トリガー付き)
NHL-0009



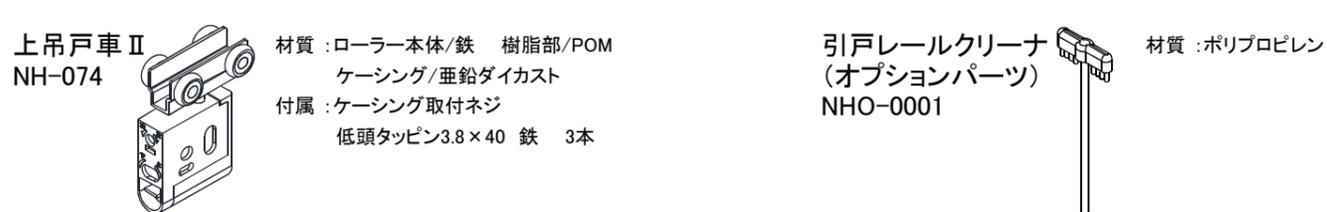
材質 : レール/アルミ トリガー/POM
付属 : レール取付ネジ
低頭タッピン3.8×40 鉄
※戸先側のトリガーは予めレールにリベット止めされています
戸尻側のトリガーは付属のシャトル用後付トリガーをご使用ください
材質 : トリガー/POM リベット/真鍮

上吊戸車Ⅱ
NH-074



材質 : ローラー本体/鉄 樹脂部/POM
ケーシング/亜鉛ダイカスト
付属 : ケーシング取付ネジ
低頭タッピン3.8×40 鉄 3本

引戸レールクリーナ
(オプションパーツ)
NHO-0001



材質 : ポリプロピレン

⚠ 注意事項

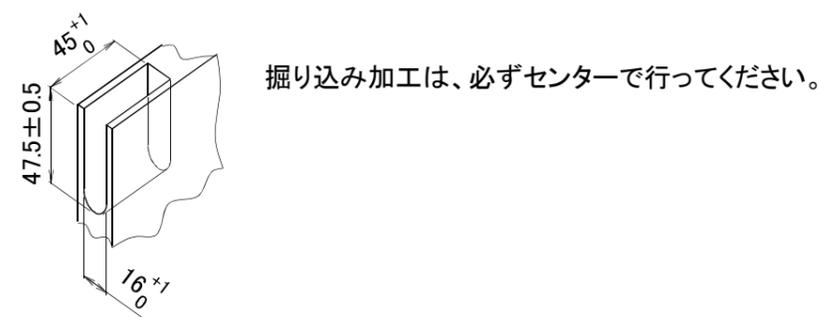
- ・扉を勢いよく操作すると正常に作動しません。又、扉、周辺部材、本装置の破損の原因となり、扉の開閉が出来なくなります。扉は通常の引戸と同じように操作してください。
- ・本装置は、一般住宅の室内専用の製品です。屋外や不特定多数の使用が考えられる場所・施設には使用しないでください。
- ・施工後は必ず作動チェックを行ってください。
- ・レール加工、取付時の切粉、木くず等がレール滑走面、装置内部に付着すると異音の発生や引込動作不良を起します。施工後も含めてこまめにレール内を清掃してください。
- ・本装置は、引戸扉の閉め際に扉が閉じるのをアシストする補助装置であって指詰めを防止する等の安全を保障する装置ではありません。
- ・本装置の引込作動する範囲内は扉が元の位置に戻ります。クローズ機構に引きバネの力を利用しておりますので扉の開けはじめ(閉めはじめ)は、通常の引戸の操作に比べると重く感じられます。
- ・扉の擦れ等の不具合がある場合は、【施工ガイド】「8 扉の調整」に準じ再度調整を行ってください。そのまま使用を続けると扉、周辺部材、本装置の破損等の原因になります。
- ・仕様外、誤操作、施工不良、施工後の周辺部材の歪み、製品の分解・改造等による装置の破損、故障に対し弊社では一切の責任を負いかねます。必ず使用条件をお守りください。

【設計ガイド】

- 引戸扉重量 : 10kg以上 35kg以下 / 1枚
- 引戸扉幅 : 520mm以上で上記扉重量範囲内 / 1枚
- 引戸扉厚さ : 24mm以上 (扉厚が24mmを下回る場合、扉が破損する危険性があります)
- 使用温度範囲 : 5°C~40°C
- ダンパー装置 : ストローク70mmのオイルダンパー
(使用環境温度により、減速力・引張速度が変動します)

○扉の加工寸法

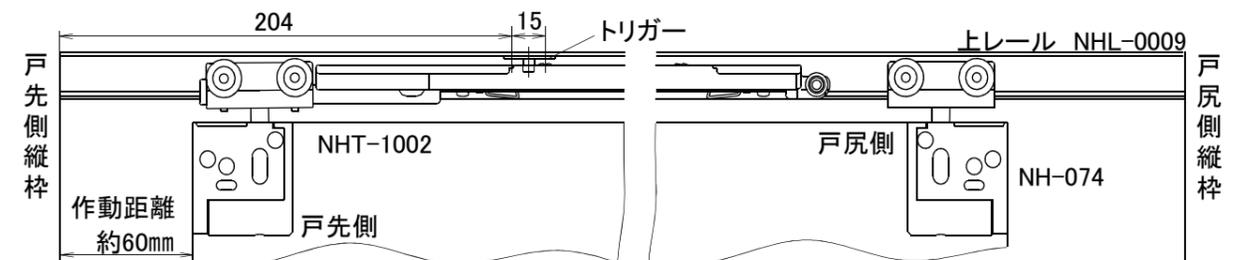
上吊戸車Ⅱ取付用のU字溝加工寸法



○金具類の納まり寸法

戸先側トリガーの取付

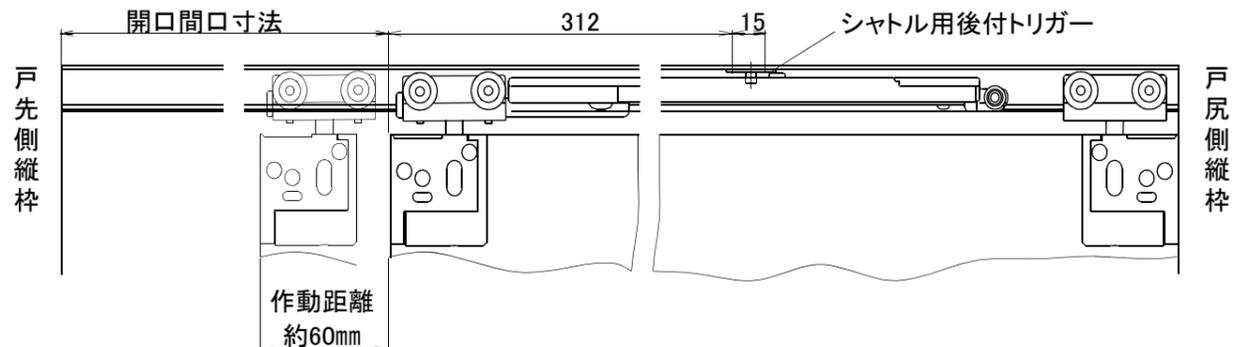
戸先側のトリガーの最初の取付穴位置は、扉を閉じた状態の扉先端位置から204mmに設定しています。作動距離は約60mm手前からになります。トリガーがリベット止めされている側が戸先側になります。



戸尻側トリガーの取付

戸尻側のトリガーの最初の取付穴位置は、扉を全開にした状態の開口間口寸法+312mmになる様に取付穴加工してください。シャトル用後付トリガーの取付はシャトルクローザー本体をレール挿入後に行ってください。作動距離は約60mm手前からになります。

※扉を全開にした状態の時、扉と戸尻側縦枠の間に隙間(余裕)を作らないでください。戸車が破損します。隙間(余裕)を作る場合、必ず戸当りゴムなどの扉のストッパー部材を設けてください。

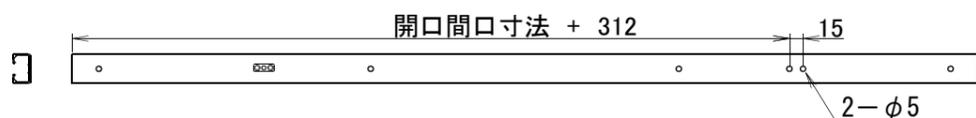


施工作業前に本書をよくお読みいただき、正しく施工を行ってください。誤った施工は思わぬケガをする恐れがあります。本書の説明、注意事項をお守りください。本装置の施工後は本書をユーザー様にお渡しいただき、いつでも取り出せる場所に保管していただく様にお伝えください。本装置は改良等により予告なく寸法・形状・使用が変わることがあります。詳細は現品にてご確認ください。

【施工ガイド】

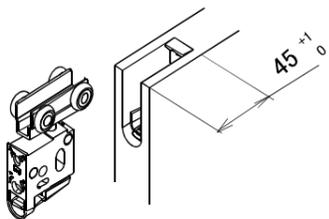
1 レールの下穴加工

【設計ガイド】を基に戸尻側トリガー用の取付穴加工を行ってください。レールを枠にネジ止めする前に行ってください。アルミの切粉やほこりが戸車の走行に悪影響をあたえます。加工後は必ずレール内を清掃してください。

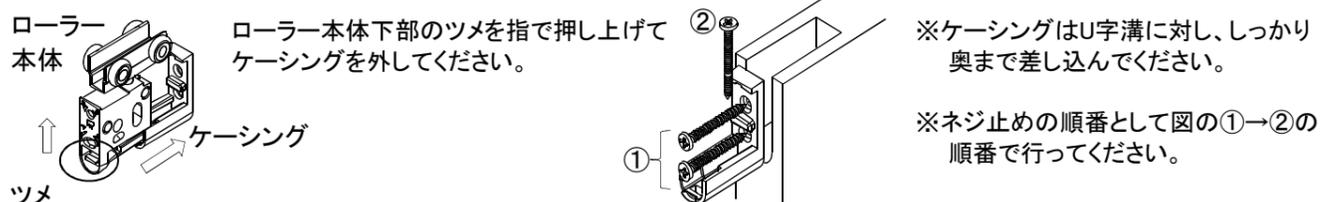


2 扉の加工

【設計ガイド】を基に扉の上部には、上吊戸車Ⅱ取付用のU字溝加工を行ってください。



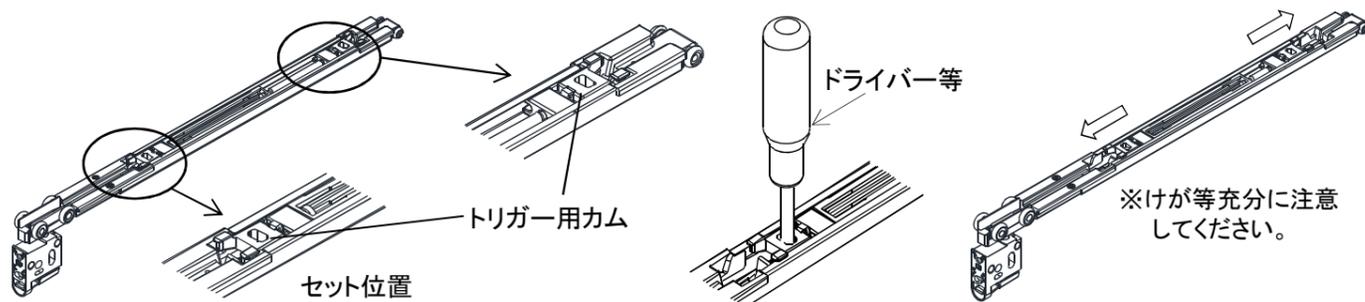
上吊戸車Ⅱからケーシングを外し、扉の上部に加工したU字溝に3本のネジでケーシングを取付けてください。



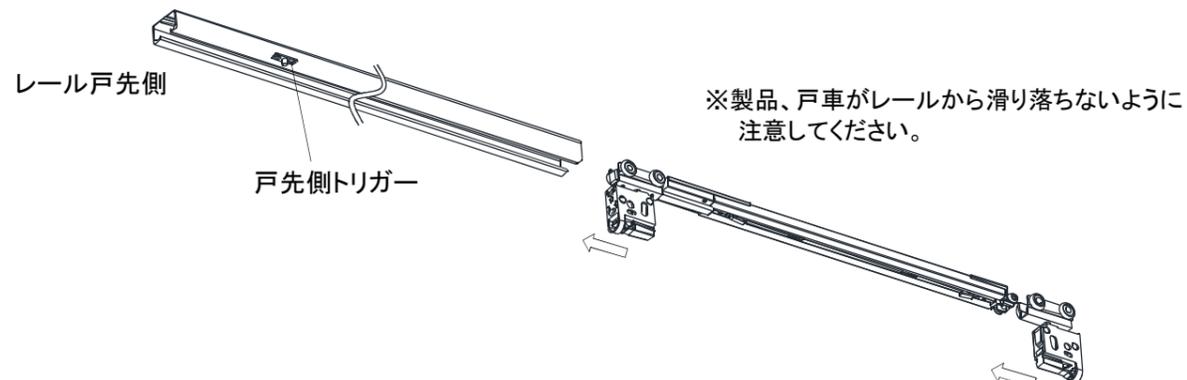
3 レールの取付

レールに本装置を挿入する前にトリガー用カムが下図の様にセット位置にあることを確認してください。

※セット位置にない場合、ドライバー等でトリガー用カムを両端へ移動させてください。

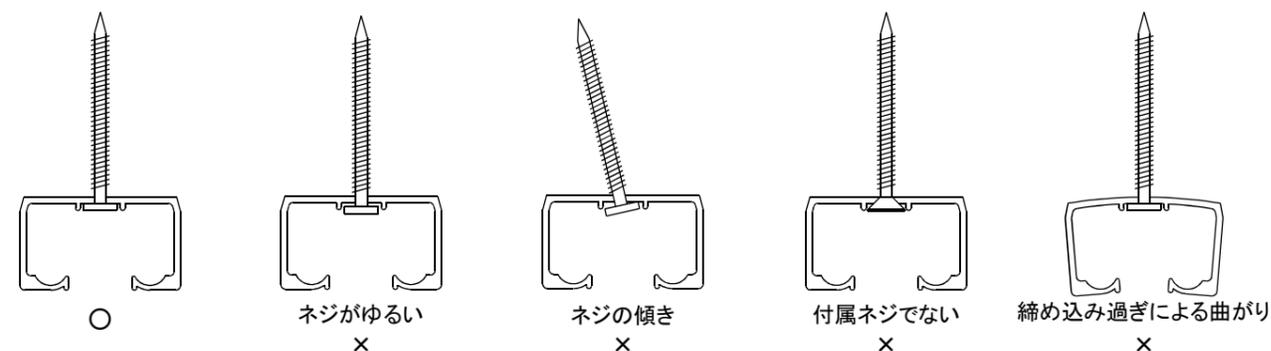


レールの向き、製品の向きに注意し、下図の様にレール内に製品と上吊戸車Ⅱを挿入しレールを上枠に付属のレール取付ネジで固定してください。



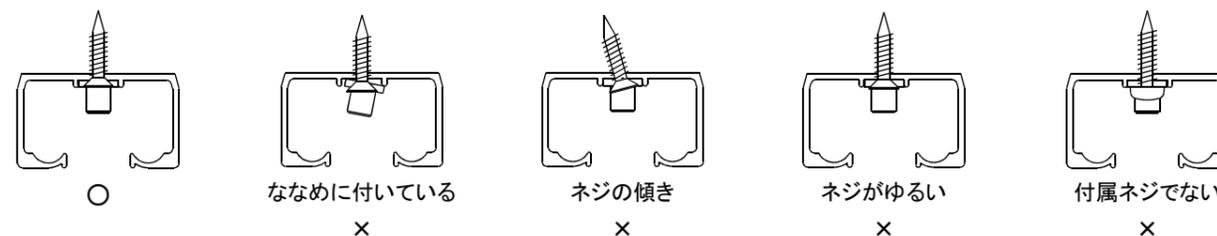
⚠レール取付の注意

上枠、上枠のレール取付面は、平滑で反り、曲がりがない様にしてください。



4 戸尻側トリガーの取付

予め開けてあるトリガー取付用穴に合せトリガーを付属のシャトル用後付トリガー取付ネジでしっかり止めてください。

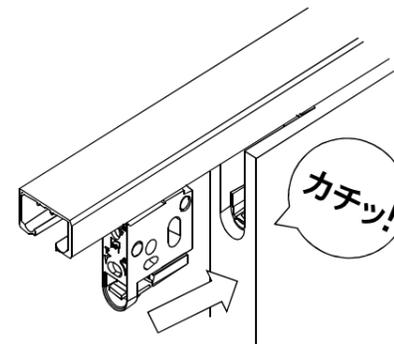


5 レールの清掃

上レール・シャトル用後付トリガーを取付けた後にレール滑走面をきれいにしてください。木くず等がレール滑走面、装置内部に付着すると異音の発生や引込動作不良を起こし扉が閉まらなくなります。施工後も含めてこまめにレール内を清掃してください。

6 扉の吊り込み

扉に予めネジ止めしてあるケーシングにローラー本体を挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



7 作動チェック

ゆっくりと扉の全開・全閉を数回行ない、作動の確認をしてください。

8 扉の調整

扉の上下調整・左右調整は上吊戸車Ⅱで行えます。

上下調整

下側のネジを回して調整します。
調整量: 8mmの範囲



左右調整

上側のネジを回して調整します。
調整量: 4mmの範囲



※クローズ速度調整・引込力の調整はできません。